

1 「プラン2018」の概要

プランとは

都が今後取り組むべき対策と目標を明示するとともに、保健所や区市町村と一体となって対策を推進するための行動計画

プラン2018の概要

- 計画期間：平成30年度(2018年度)から令和2年度(2020年度)まで
- 東京は人口が集中する大都市であり、国際化が進行する地域特性や、結核発生動向等を踏まえ、以下の3点を重点事項と位置付け
 - 従来の施策の成果や関係機関との連携体制を最大限に生かし、重点事項を含め、総合的な取組を推進

【重点事項①】 外国出生結核患者対策

言語、文化、医療制度の違いを踏まえた対策

【重点事項②】 高齢者結核対策

高齢者結核患者の早期発見や、施設等における感染拡大防止

【重点事項③】 潜在性結核感染症対策

LTBIの発見と医療確保に必要な情報の提供

2 「プラン2018」に定める目標値の達成状況

指標	国指針の目標値	都の目標値	保健所の目標値	結核予防推進プラン2018				
				H28 (H28登録)	H29 (H29登録)	H30 (H30登録)	R元 (R元登録)	R02 (R02登録)
1 人口10万人対り患率	10以下	12以下	管轄地域のり患率から30%減	17.2	16.1	14.2	13.0	※ <u>11.3</u>
2 BCG接種対象年齢における接種率	95%以上	99%以上	99%以上 (区市町村)	97.5%	97.5%	97.4%	98.6%	-
3 全結核患者DOTS実施率	95%以上	95%以上	95%以上	97.7%	98.7%	98.6%	-	-
4 潜在性結核感染症DOTS実施率	95%以上	95%以上	95%以上	98.1%	97.7%	97.5%	-	-
5 治療失敗・脱落率 (H28登録からは活動性肺結核全体)	5%以下	5%以下	5%以下	2.3%	1.1%	0.8%	-	-
6 潜在性結核感染症の治療を開始した者のうち治療を完了した者の割合	85%以上	85%以上	85%以上	88.2%	86.9%	88.9%	-	-
7 喀痰塗抹陽性の新規登録肺結核患者 (再治療を除く)のうち、コホート判定の結果が判定不能である者の割合	-	5%以下	5%以下	0.1%	0.1%	<u>0.0%</u>	-	-
8 保健所における培養検査結果の把握割合	-	95%以上	95%以上	97.6%	96.6%	94.8%	<u>97.1%</u>	-
9 保健所における培養陽性中の薬剤感受性検査結果の把握割合	-	95%以上	95%以上	89.2%	96.6%	96.6%	<u>96.2%</u>	-

※ 1月～11月までの実績値と12月推計値から年換算り患率を算出
下線部分は、第1回結核対策技術委員会以降に判明した数値

3 「プラン2021」(仮)策定に向けた今後の進め方

- ▶STEP1 実態把握(プラン2018の達成状況を確認・評価するため、保健所向けにアンケート調査を行う。)
- ▷STEP2 調査の集計、課題抽出
- ▷STEP3 第1回技術委員会開催(保健所向けアンケート調査の結果報告) 専門部会の設置
- ▷STEP4 専門部会での検討
 - ・今後予測される事態の推定(低まん延時を見据えた対策等)
 - ・盛り込むべき対策の内容
 - ・目標値の設定
- ▷STEP5 第2回技術委員会の開催
プランの最終審議

「プラン2021」(仮)の公表(令和4年2月)

4 STEP 1 実態調査の概要

1. 調査時期： 令和3年2月～3月
2. 調査目的： プラン2018の達成状況を確認・評価する。
3. 対象保健所： 都内の保健所(36カ所(島しょ保健所の出張所、支所はそれぞれ1保健所として調査)
4. 調査内容： プラン2018の6つの分野において12の取組に沿って質問